

地域を支えている職業について理解を深める
生徒たち＝伊豆の国市の韮山体育館



地域の職業知ろう

伊豆の国商
工會青年部
韮山・大仁中生が体験

伊豆の国市商工会青年部（織茂大吾部長）は18日、職業フェア「おらが街の職を知ろう！」を市立韮山中、韮山体育馆で開いた。同校1年生、大仁中1年生計141人が、体験をしながら地域を支えている職業について学んだ。

電気工事設備では高所作業車のバケットに乗り、約14mの高さから景色を楽しんだ。伊豆長岡見番のブースもあり、芸妓（げいぎ）も体験。プロにメーカー着付けをしてもらい、会場内を歩き回るなどした。

開会式で井川弘一郎

生徒たちは将来、仕事を就くときの参考に、部員、事業所は仕事への思い、内容を掘り下げる機会などとして今後の事業推進への活力にしてもらえば企画した。昨年度に続いて2回目の開催で、建築、造園、生花販売店、飲食店、薬品警察、消防など地元の34事業所が出展した。石材店で生徒たちは、ハンマードリルを使つて石割りを体験。

実行委員長は関係者の協力に感謝することもに生徒たちに向けて「集まってくれているのは、地域を支えている皆さん。どういった仕事がどのようになりたっているのかなど、いろいろ質問して有意義な時間にしてほしい」と呼び掛けた。昨年度に実施した同フェアなどの実績が評価され、市商工會青年部が表彰を受賞したことも報告した。

伊豆の国商
工會青年部
韮山・大仁中生が体験

電気工事設備では高所作業車のバケットに乗る。伊豆長岡見番のブースもあり、芸妓（げいぎ）も体験。プロにメーカー着付けをしてもらい、会場内を歩き回るなどした。